



1928年(昭和三年)三月廿一日

「午前十一時より大阪中之島公會の三階に京阪神『聖書之研究』讀者會が開かれた。來會者百人餘り、遠くは淡路美作より來りし者もあつた。塚本先生「基督教道德」に就いて講じ、次に自分は「聖書の中心」に就いて話した。來會者は全注意を以て聽いて呉れた。十二時一先ず閉會、寫眞を撮り、晝食を共に、直ちに感話祈禱會に移り語る者祈る者相次いで間斷なく四時迄實せる會合を終つた。

閉會後教友二人に案内され自動車で市中を見物した。ホテルに歸り友人四人と夕食を共にし、八時四十分發の夜行にて帰途に就いた。疲れた身は腹台車大の安息を得た。」

(先生の日記より)